

# 1年生の現代社会の授業で、「租税教室」を行いました！

「租税教室」を、1年生の現代社会の授業で実施しました。今回は、柘植麻美先生（恵那市大井町）と古屋明栄先生（中津川市坂本）のお二人の税理士の方を講師として実施しました。事前に生徒から聞いていた質問事項をもとに、それに答える形で進めていただきました。例えば・・・



「今の日本では、一人につき、一年間で、どのくらいの税金を納めているのか？」

「なぜ、法人税率はどんどん下がってきているのか？」

「あまり知られていないが、実は税金がかけられているものは何か？」

などの質問に、分かりやすく答えていただきました。



答えていただく中で・・・

「入湯税の使い道は・・・」

「たばこ税が上がることによる影響は・・・」

「軽減税率の導入により、牛丼を食べる場合お店で食べるのと持ち帰るのでは値段が変わる」

などの話も飛び出し、興味深く聞くことができました。

一方、税理士の方からは、

「1100兆円もの借金を、どのように返していきますか？」

と問いかけられ、生徒同士話し合い、自分の意見を税理士の方に述べる機会もいただきました。

以下、生徒の感想です。

- ★ 日本の税金や財政について色々な事情を知ることができたので、普段の生活から税金の使われ方や、払い方について興味を持って生活したいと思いました。
- ★ 今の日本は、歳入は増えているのに、借金が増えていることは深刻なことだと思いました。使うところが多いけど、どれも必要な出費なので、税金を増やすしかないのか、と思いました。
- ★ 日本の財政の現状を考えると、消費税の率を上げるしかないとわかった。
- ★ 消費税が上がることは、私たちも大変だけど、経営者にとってはもっと大変で色々影響が大きいことがわかりました。